

計画Ⅱ ▶▶ 社協アクションプラン・発展強化計画

☆ 社協アクションプラン・発展強化計画は、地域実践プロジェクトや福祉ニーズ、施策の方向性等を踏まえ、柏市社協の具体的な取り組み（事業と組織運営）を計画化したものです。
 なお、社協アクションプランは、重点的な取り組みと具体的な取り組みで構成されています。

■重点的な取り組み（リーディング事業）

1 孤立させない体制づくり	『身近な地域での日常的な見守り等による孤立させない体制づくり』を推進します。
2 重層的な支えあい活動の推進と支援	『支えあい活動の更なる推進と連携、協働による重層的な支援体制の構築』を推進します。
3 協議体機能を活かした新たな活動の創造	『さまざまな団体や関係機関との連携や協働等による新たな活動の創造』を推進します。

■具体的な取り組み

1 地域活動の支援	地域を基盤としたしくみづくりや活動支援
2 福祉教育（福祉意識の醸成）	障がい理解や福祉の心、支えあい意識の醸成
3 ボランティア活動の推進	活動の促進や人材育成、団体支援、連携促進等
4 在宅福祉サービスの充実	在宅福祉サービスの推進、制度では対応できない支援の検討と実施
5 総合相談	各種相談事業の相談内容から新たな支援の検討
6 権利擁護	高齢者や障がい者等の権利擁護とその普及啓発
7 災害支援	災害時の支援体制づくり

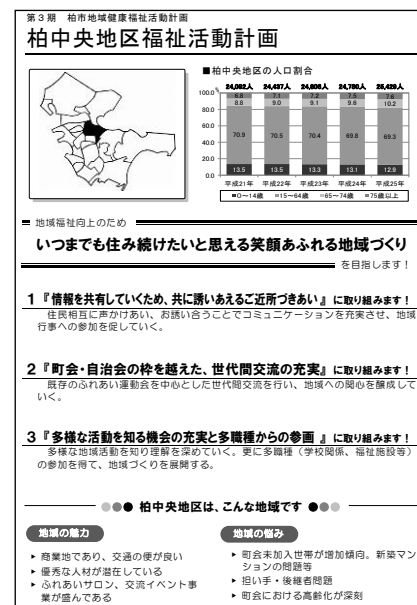
※ 本計画には、柱ごとの具体的な取り組みや実施年度、目標値が掲げられています。

計画Ⅲ ▶▶ 地区別計画

☆ 地区別計画は、住民がその特性や課題、方向性を話しあいその地区の理想の実現や課題の解決に向けた取り組みを住民自身の手で計画化したものです。
 ☆ 計画は、“地区社協”を中心に、さまざまな分野の住民や団体などが協力しながら進めていきます。

地区社会福祉協議会（地区社協）は…

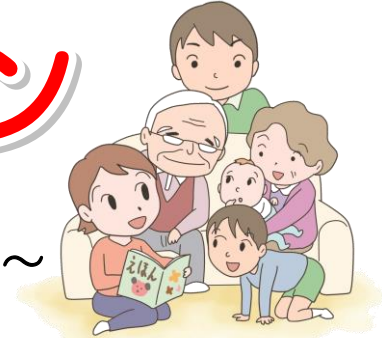
☆ 身近な地域で住民同士が支えあい、助けあうことを目的に、柏市社協により設置された住民組織です。近年では、ふるさと協議会の福祉活動分野を担う組織（例：保健福祉部）として位置づけられています。



第3期 柏市地域健康福祉活動計画 概要版 平成26年3月発行
 発行・編集 / 第3期 柏市地域健康福祉活動計画策定委員会・社会福祉法人 柏市社会福祉協議会
 〒277-0005 柏市柏五丁目11番8号 介護予防センターいきいきプラザ内
 TEL 04-7163-9000 FAX 04-7163-9300



“私たちの” 支えあいプラン



～ 第3期 柏市地域健康福祉活動計画 ～

1 計画を策定する目的

“つながり”と“支えあい”のあるまちづくりへ

これからのまちづくりに大切なことは…

- ☆ 柏市民の多様な地域での活動と、身近な地域で“共に”つながり、支えあうこと
 - ☆ 市民、地域組織、団体、社協、行政等が各役割の中で“共に”推進し、取り組むこと
- この計画は…
- ☆ 住民や地域が主体となって、共に住みよい地域をつくる「共助」の視点に立ってつくられています。そして、柏市の地域活動の更なる推進と、身近な生活課題の解決に向け、“つながり”と“支えあい”のあるまちづくりを推進するために策定しました。

2 計画の位置づけと計画期間

この計画は、市民や各種団体が主体的に進める「健康福祉活動の計画（民間計画）」です。しかし、地域健康福祉を効果的に進めるためには、「行政と市民（地域住民や各種団体等）及び社会福祉協議会」が連携して取り組む必要があります。そこで、この計画は、市の地域健康福祉計画（行政計画）の方向性を踏まえ、一体的な計画として策定されています。なお、計画期間は、平成26年度から平成30年度までの5ヵ年となります。

3 計画の構成

この計画では、計画理念の実現に向けて「地域（柏市）全体」「社会福祉協議会」「地区単位」それぞれが、この5年間で取り組むべき活動を、計画化しています。

地域健康福祉活動計画

市民や各種団体等、地域全体で取り組むべき、6つの実践プロジェクトを掲げています。

社協アクションプラン 発展・強化計画

社協が取り組む地域支援活動や福祉サービス、また、組織経営等を計画化しています。

地区別計画

各地区で話し合いを重ね、地区の特性に合わせた目指すべき地域像や活動の柱を掲げています。

計画理念 ～ この計画が目指すもの

『だれもが、その人らしく、住み慣れた地域で、共に、いきいきと暮らせるまち 柏』

☆ 地域健康福祉活動計画では、柏市の方向性を踏まえ、一体的に地域健康福祉活動を推進するため、柏市が目指す地域健康福祉像を共有し、計画理念として掲げています。

計画 I ▶▶ 柏市地域健康福祉活動計画

☆ 住民や各種団体など、地域全体で共に協力しあいながら進めていくべき大切な取り組みを『6つの地域実践プロジェクト』としてまとめました。

地域実践プロジェクト 1

地域活動に積極的に参加しよう！

市民一人ひとりが町会・自治会やボランティア、趣味活動等に積極的に参加し、地域の助けあい・支えあい活動の“担い手”になること。また、市民が地域活動に参加しやすい機会やしくみをつくり、みんなで支えあう地域を目指します。

●●● このプロジェクトの目標 ●●●

- ☆ 楽しさや生きがいを感じながら地域活動に参加する市民がたくさん誕生する
- ☆ 多くの市民の参加やアイデアから多彩な地域活動や支えあいが生まれる



地域実践プロジェクト 4

孤立させないしくみをつくろう！

育児中の母親や一人暮らし高齢者や障がい者等、孤立しがちな市民が、地域とのつながりを感じ、安心して生活できるしくみや取り組みを行うこと。そして、だれもが孤立することなく、つながりのある地域を目指します。

●●● このプロジェクトの目標 ●●●

- ☆ どんな状況の中でも、だれもが地域との繋がりを感ずることができる
- ☆ つながりにくい人をそっと見守り、必要な時に支える環境ができる



地域実践プロジェクト 2

積極的に情報を発信・取得・共有しよう！

市民一人ひとりが情報の発信・取得・共有方法を学び、実践し続けることでさまざまな方法による情報発信や取得、共有が可能になります。みんなが積極的に情報を共有し、必要な人に必要な情報が伝わる地域を目指します。

●●● このプロジェクトの目標 ●●●

- ☆ 市民一人ひとりが、自分に必要な情報をうまく取得し、発信できる
- ☆ 情報がみんなで共有され、必要な人に必要な情報が届きやすくなる



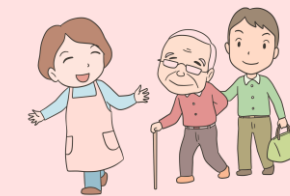
地域実践プロジェクト 5

日常生活を支援する活動をつくろう！

制度では支援しきれない日常的な生活課題を抱えた高齢者や障がい者等を地域全体で支える取り組みを身近な地域で行うこと。そして、身近な地域の支えあいによりだれもが安心して暮らすことのできる地域を目指します。

●●● このプロジェクトの目標 ●●●

- ☆ 公的制度では対応できない日常の困りごとを地域の支えあいで解決できる
- ☆ 支えあいの取り組みや団体が地域の中にたくさん誕生し、つながっている



地域実践プロジェクト 3

みんなが集える居心地の良い居場所をつくろう！

高齢者や子育てサロン等の参加対象を決めた居場所の他に、あらゆる世代の市民がだれでも、いつでも気軽に立ち寄れる地域の居場所をつくること。そして、地域の居心地の良い居場所から新たなつながりや活動が生まれる地域を目指します。

●●● このプロジェクトの目標 ●●●

- ☆ 身近なところにいつでも気軽に立ち寄れる居心地の良い場所ができる
- ☆ 地域にある居場所から新たなつながりや活動が生まれる



地域実践プロジェクト 6

さまざまな団体と交流や連携をしよう！

さまざまな団体が交流し、特徴を活かしながら連携すること。そして、複雑で多様化した生活課題等の解決（地域包括ケアシステムの構築）や新たな活動の誕生、更なる活動の幅を広げることのできる地域を目指します。

●●● このプロジェクトの目標 ●●●

- ☆ 団体同士がお互いに活動を認め、分野を超えたつながりや交流がある
- ☆ 団体同士の連携やコラボレーションから新たな活動が誕生し続ける

